

「分かりやすく伝える技術」を体得して武器にする！

プレゼンテーションスキル 3 days集中講座

主催：株式会社ラグランジュポイント

講師：高田 晃（たかだ ひかる）

第1講

ベーシック・プレゼンテーション

～分かりやすく伝える技術の基本～

「魅せ方・伝え方」に関する知識と技法を中心に、プレゼンテーションに関する基礎知識ならびに基本作法を学習。

第2講

ライティング・プレゼンテーション

～分かりやすく書いて伝える技術～

報告書や企画書などの資料、メールやチャットなどのコミュニケーションツールによる「書いて伝える技術」を学習。

第3講

スライド・プレゼンテーション

～魅せながら伝える技術～

パワーポイントを活用したビジュアルプレゼンテーションスキルの習得と、伝わりやすいスライド資料の作成法を学習。

第1講

ベーシック・プレゼンテーション

～分かりやすく伝える技術の基本～

「魅せ方・伝え方」に関する知識と技法を中心に、プレゼンテーションに関する基礎知識ならびに基本作法を学習。

第2講

ライティング・プレゼンテーション

～分かりやすく書いて伝える技術～

報告書や企画書などの資料、メールやチャットなどのコミュニケーションツールによる「書いて伝える技術」を学習。

第3講

スライド・プレゼンテーション

～魅せながら伝える技術～

パワーポイントを活用したビジュアルプレゼンテーションスキルの習得と、伝わりやすいスライド資料の作成法を学習。



第3講

スライド・プレゼンテーション
～ 魅せながら伝える技術～

本日の流れ

part.01 前提 ～2つのスライド資料～

part.02 ストーリー作り（構成）の技術

part.03 スライド作成の技術

part.04 最終演習

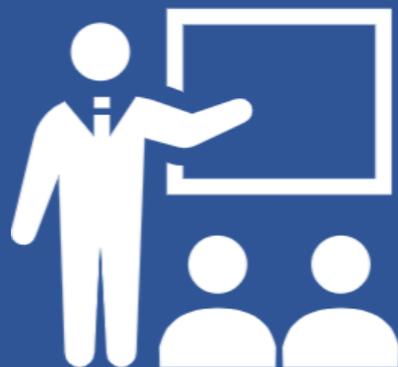


part.01

前提 ～2つのスライド資料～



用途によって、スライド資料は大きく2つに大別できる



投影がメイン

スライドを投影しながら
プレゼンする



配布がメイン

スライドを配布して
プレゼンする

① 投影がメイン

スライドはトークの補助



② 配布がメイン

1. 配布がメインとなる場合とは？

配布がメインとなる場合とは、基本的にスライドを**配布資料**として聴衆に配り、そのうええプレゼンテーションするようなケースを指す。

2. 配布がメインとなる「2つのパターン」

シチュエーションによって**2つのパターン**に分けることができる。

- ① 資料を配り、その資料の内容を説明するようにプレゼンする場合
- ② 資料を配り、特に説明する機会はなく、その資料に目を通してもらう場合

3. 配布がメインとなる資料の「注意点」

配布がメインの場合、いわゆる“**資料の1人歩き**”が起こるケースが多いため、誰がどう読んでも解釈に齟齬が生じないようにする必要がある。

目的によって性質が異なる

投影
がメイン

配布
がメイン



見る



読む

part.02

ストーリー作り（構成）の技術



スライド作成の“3ステップ”

Step

1

ストーリーを作る

Step

2

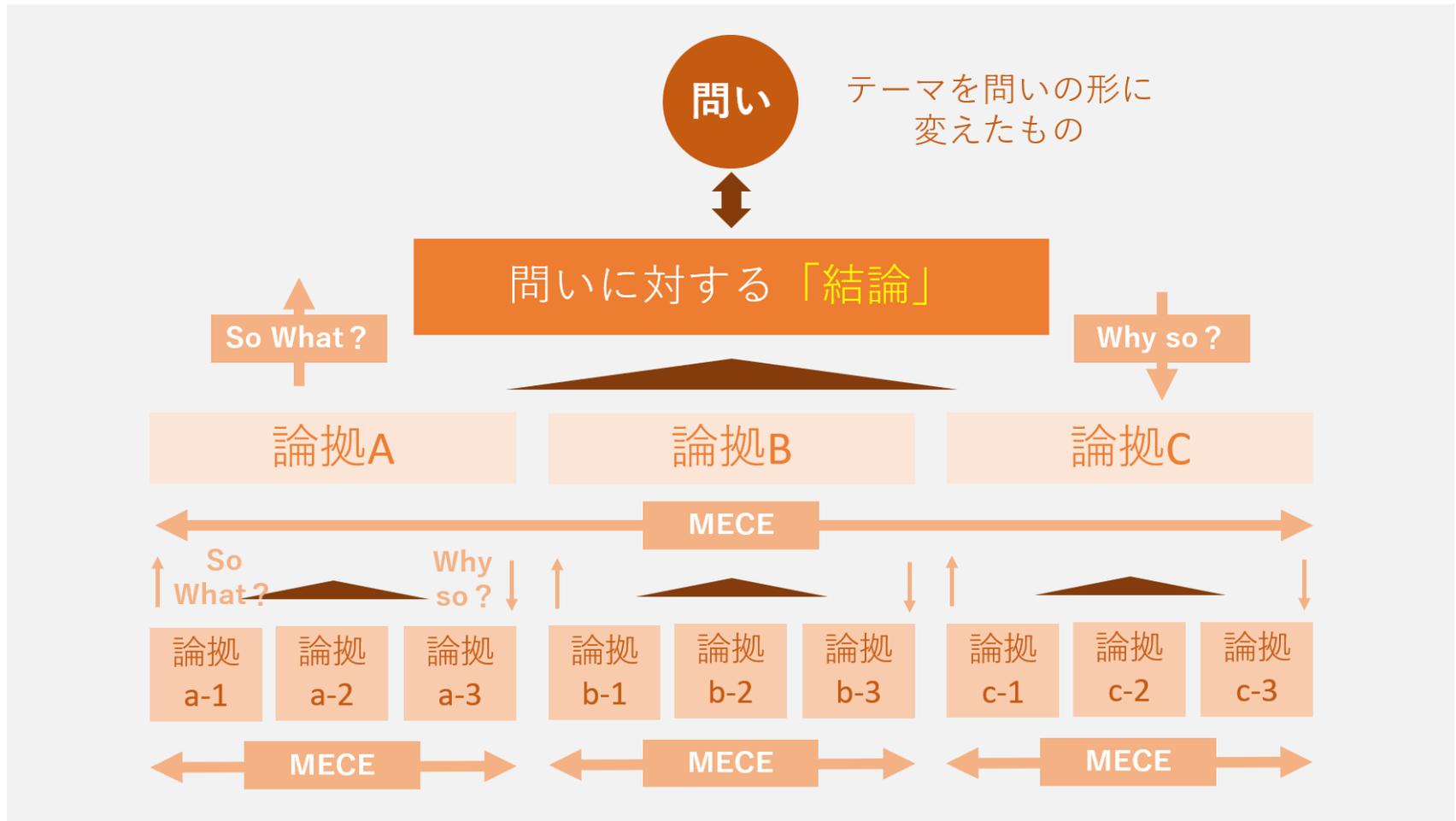
パワーポでアウトラインを作る

Step

3

パワーポの**中身**を作る

「論理の基本構造」に即してストーリーを組み立てる



スライドの基本構造

表紙

- ① 導入部（はじめに、目的など）を入れる
- ② 目次を入れる
- ③ 要旨を入れる

はじめに

目次

提案の要旨

本題 1

本題 2

本題 3

part.03

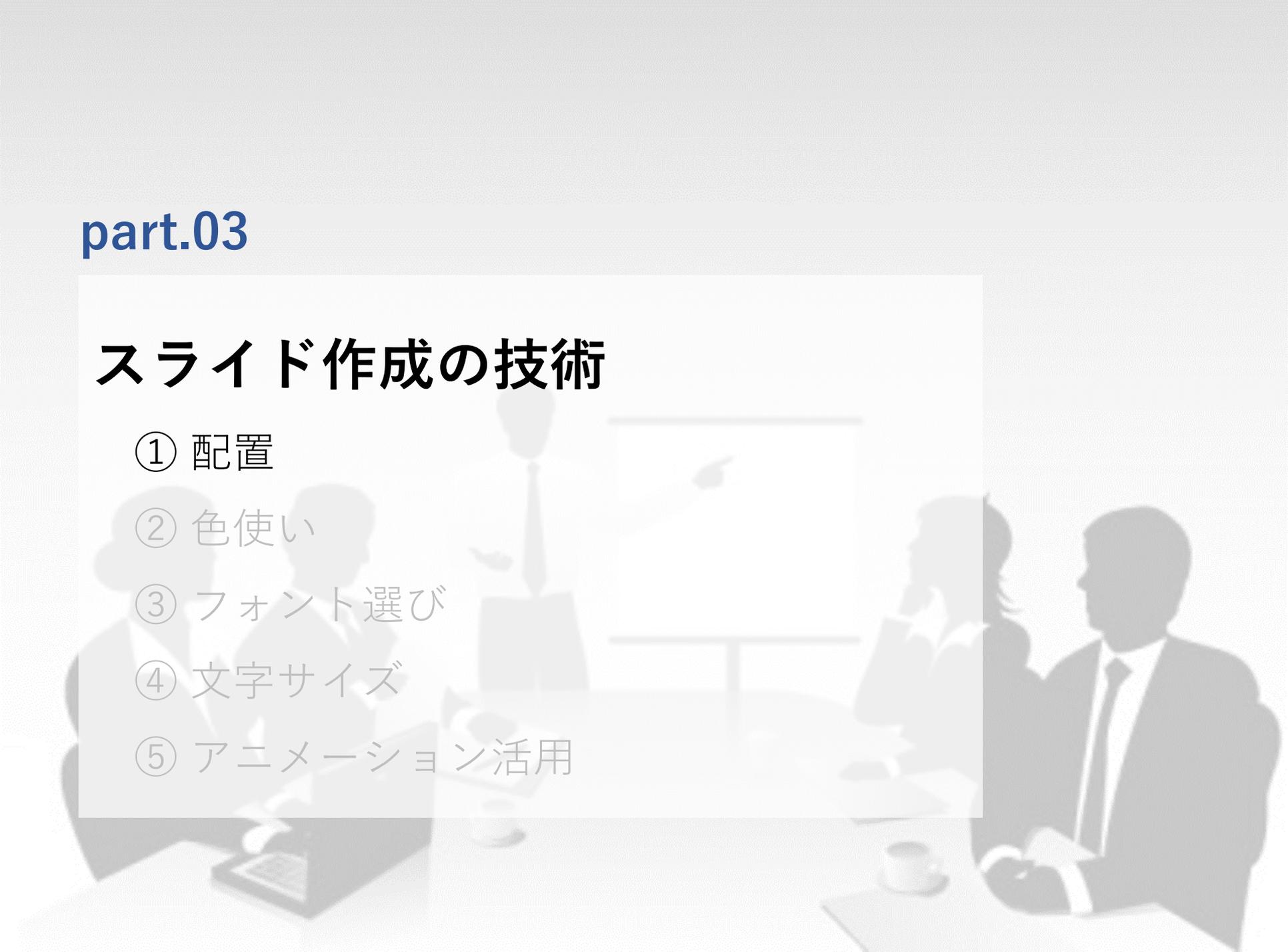
スライド作成の技術

- ① 配置
- ② 色使い
- ③ フォント選び
- ④ 文字サイズ
- ⑤ アニメーション活用

part.03

スライド作成の技術

- ① 配置
- ② 色使い
- ③ フォント選び
- ④ 文字サイズ
- ⑤ アニメーション活用



(1) 3つの基本要素

「**タイトル+メッセージ+チャート**」がスライドの基本要素

タイトル

メッセージ（このスライドで伝えたいこと）

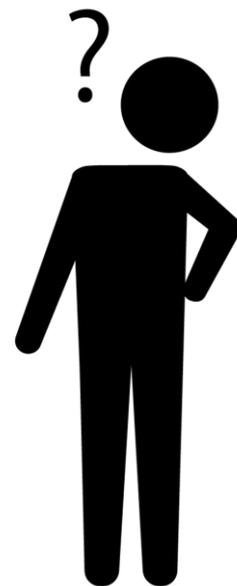
チャート・図

(2) 1スライド1メッセージ

スライド1枚につき、メッセージは1つまでを基本とする

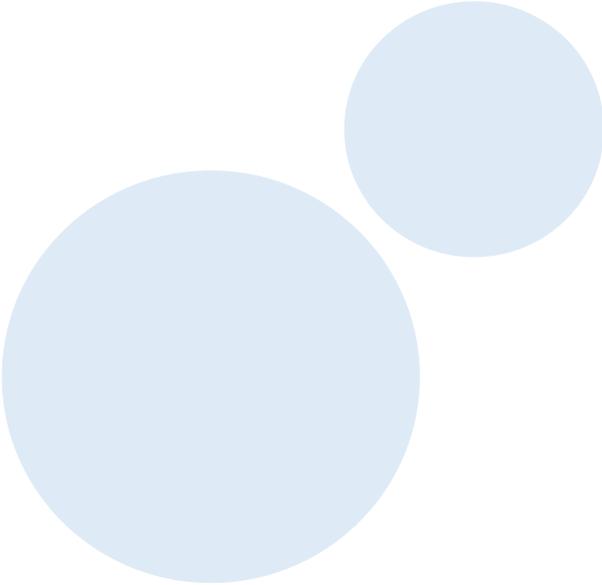
タイトル

- **プレゼンテーションはトーク自体よりも、視覚情報の方が聞き手に印象を与える**
- **プレゼンテーションの際には、視覚物を活用する**
- **スライドの作成は、まずストーリーを考えることから始める**
- **スライド1つの中に、メッセージを盛り込み過ぎない**



（3）必要な要素だけを載せる

スライドには、必要な要素だけを載せるようにして、
可能な限り 必要のない要素は載せない

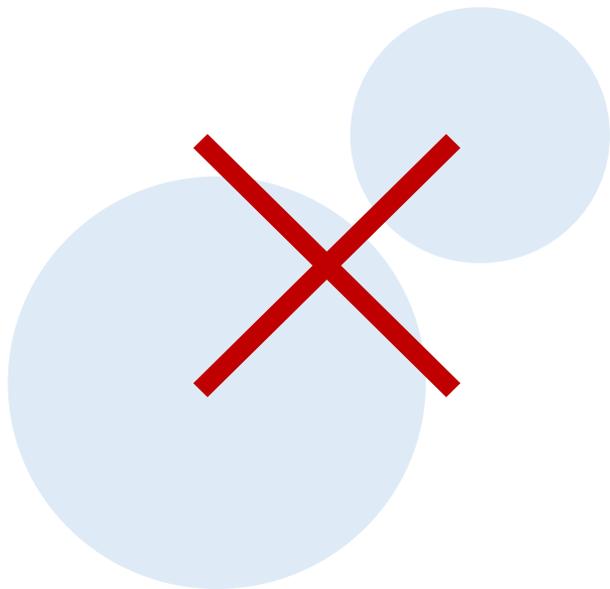


<問題>

Q. 必要ないものはどれでしょうか？

（3）必要な要素だけを載せる

スライドには、~~必要な要素だけを載せるようにして、~~
可能な限り 必要のない要素は載せない



(4) 余白を揃える

スライド内の**各要素の余白を揃える**ことで、見栄えが良くなる

図・写真

ここでいう「要素」とは、テキストや図、写真などスライド内に含まれるパーツのことを指します。

図・写真

スライド内で使用される1つ1つのパーツが配置を揃えられ、かつ余白が均一になっていると綺麗に見えます。

(4) 余白を揃える

スライド内の**各要素の余白を揃える**ことで、見栄えが良くなる



図・写真

ここでいう「要素」とは、テキストや図、写真などスライド内に含まれるパーツのことを指します。



図・写真

スライド内で使用される1つ1つのパーツが配置を揃えられ、かつ余白が均一になっていると綺麗に見えます。

(4) 余白を揃える

スライド内の**各要素の余白を揃える**ことで、見栄えが良くなる



図・写真

ここでいう「要素」とは、テキストや図、写真などスライド内に含まれるパーツのことを指します。



図・写真

スライド内で使用される1つ1つのパーツが配置を揃えられ、かつ余白が均一になっていると綺麗に見えます。

漢字のバランス

平仮名と漢字のバランスに考慮することで、**視認性**を高められる

人生を切り拓く為の手帳の活用法

人生を切り拓くための手帳の活用法

漢字のバランス

平仮名と漢字のバランスに考慮することで、**視認性**を高められる

人生計画を作る方法

人生計画をつくる方法

あえて“平仮名”

手帳で夢をかなえる全技術

日本

手帳で夢をかなえる全技術

高田 晃

アイコンや写真の活用

アイコンや写真で、見栄えを良くすることができる

1. テキストのみ羅列

テキストだけが並んでいるスライドの場合

2. 画像＋テキストの組み合わせ

説明内容を象徴する画像を盛り込む場合

アイコンや写真の活用

アイコンや写真で、見栄えを良くすることができる



テキストのみ
羅列

テキストだけが並んでいる
スライドの場合



画像 + テキストの
組み合わせ

説明内容を象徴する画像を
盛り込む場合

part.03

スライド作成の技術

- ① 配置
- ② 色使い
- ③ フォント選び
- ④ 文字サイズ
- ⑤ アニメーション活用

色使いの「基本ルール」

ルール

1

色は、色々つかわない

ルール

2

色の使い方を統一する



ベースカラー

主に、文字に使う基本色

※「スライド背景は白＋文字は黒」を基本とする



メインカラー

「見出し」や「強調させたい箇所」に使用する



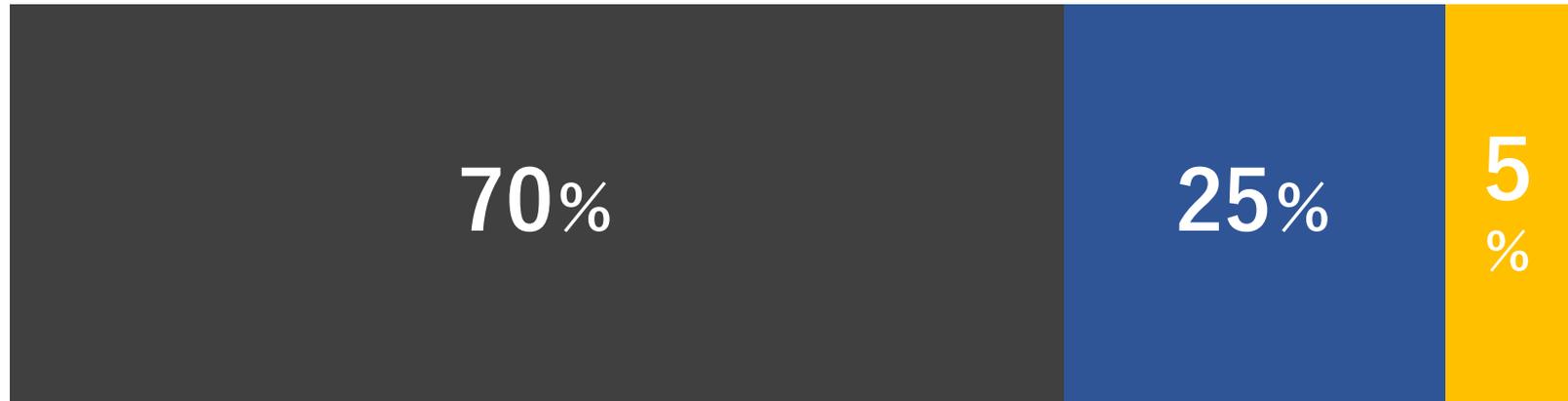
アクセントカラー

メインカラーとの区別や、

特に注目を集めたい箇所に使用する

ベースカラー

メインカラー



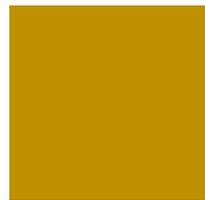
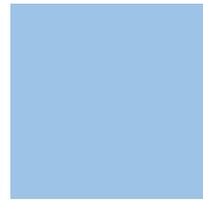
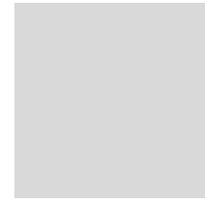
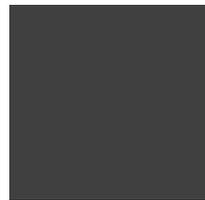
アクセントカラー

※あくまでも目安です

もっと色を使いたい場合は・・・

濃淡を変えて使う ことで、色数が増えても統一感を出せる

濃

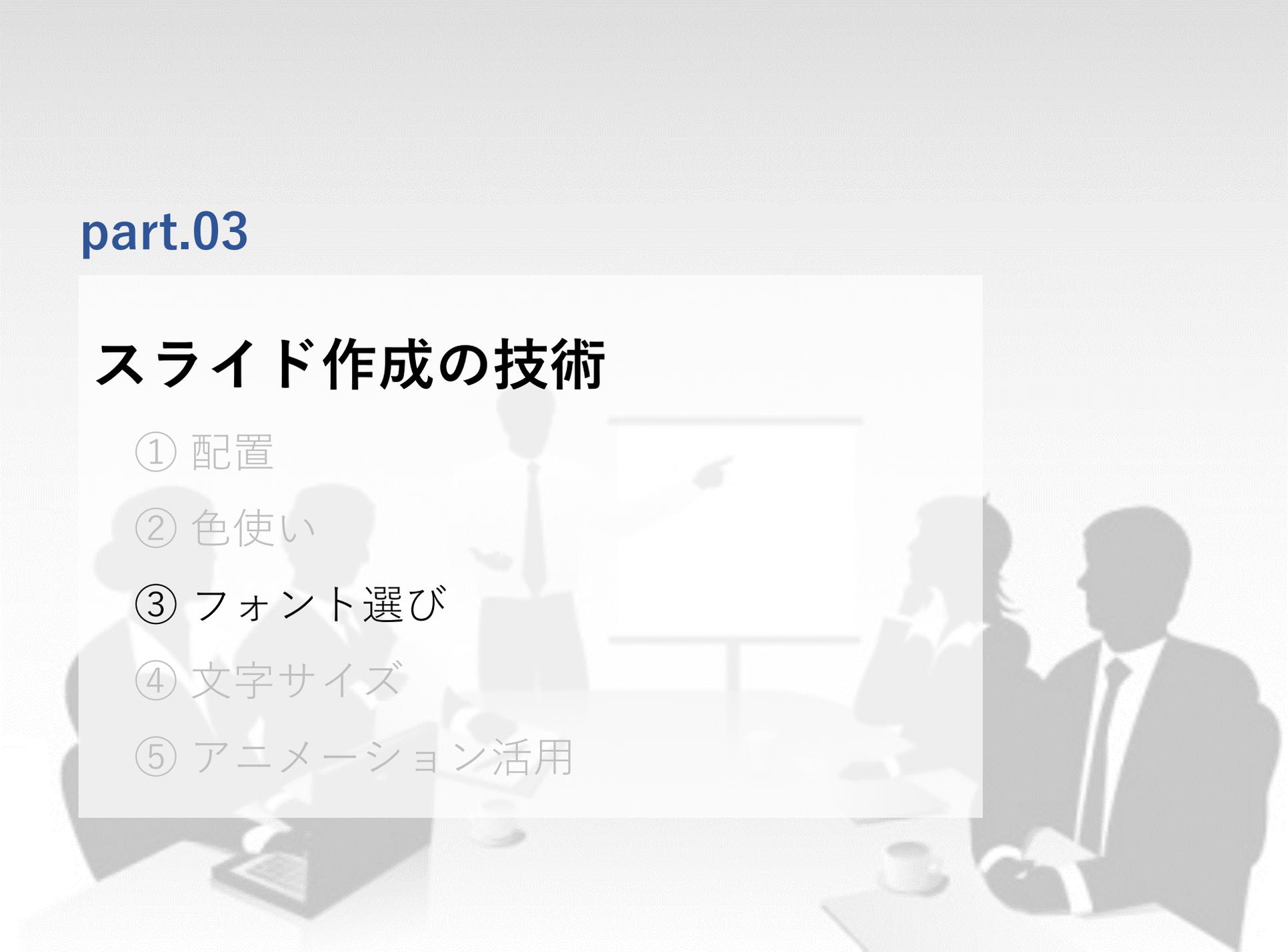


淡

part.03

スライド作成の技術

- ① 配置
- ② 色使い
- ③ フォント選び
- ④ 文字サイズ
- ⑤ アニメーション活用





プレゼンに適しているフォントは、次のうちどれでしょうか？

明朝体

ゴシック体

メイリオ

ポップ体

プレゼンに適しているフォントは、

メイリオ

なぜ、メイリオ？

- 高い**汎用性**（Windows各OSで標準搭載）
- 優れた**視認性と可読性**
- 等幅で**バランスがとりやすい**
- **太字**に対応している

通常

MSゴシック

メイリオ

太字

MSゴシック

メイリオ

創英角ゴシック

あ

細字 太字

太いので文字文字しくなる
細字と太字の差がほぼ無い

メイリオ

あ

細字 太字

游ゴシック

あ

細字 太字

綺麗な見た目だが、小さ目で
細いのでインパクトが弱い

長文や紙媒体のためのフォント (そもそも、縦書き向け)

細い部分と太い部分があり、
遠くからだと細い部分が消えて見え、
文字が判別しにくい。

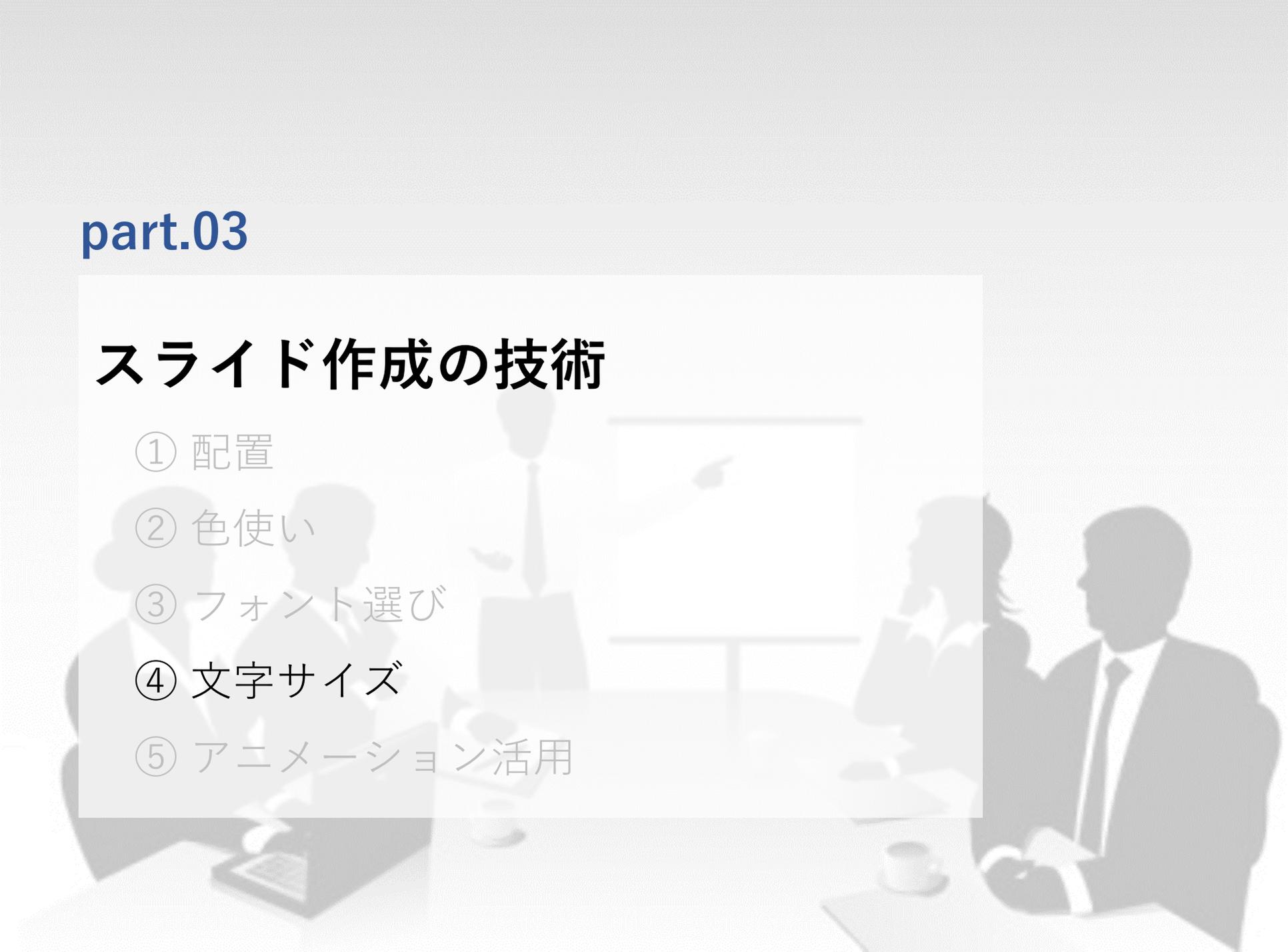
長文や紙媒体のためのフォント (そもそも、縦書き向け)

細い部分と太い部分があり、
遠くからだと細い部分が消えて見え、
文字が判別しにくい。

part.03

スライド作成の技術

- ① 配置
- ② 色使い
- ③ フォント選び
- ④ 文字サイズ
- ⑤ アニメーション活用



- プレゼンする**場所の広さ**に応じて変える
- 基本的には、**18pt以下**は使わない
基本的には、**18pt以下**は使わない (←18pt)
- 文字サイズで**可読性**や**視認性**を高めることも

20kg

20kg

3,300円

税別3,000円

3,300円

税別3,000円

人生を切り拓くための手帳の活用法

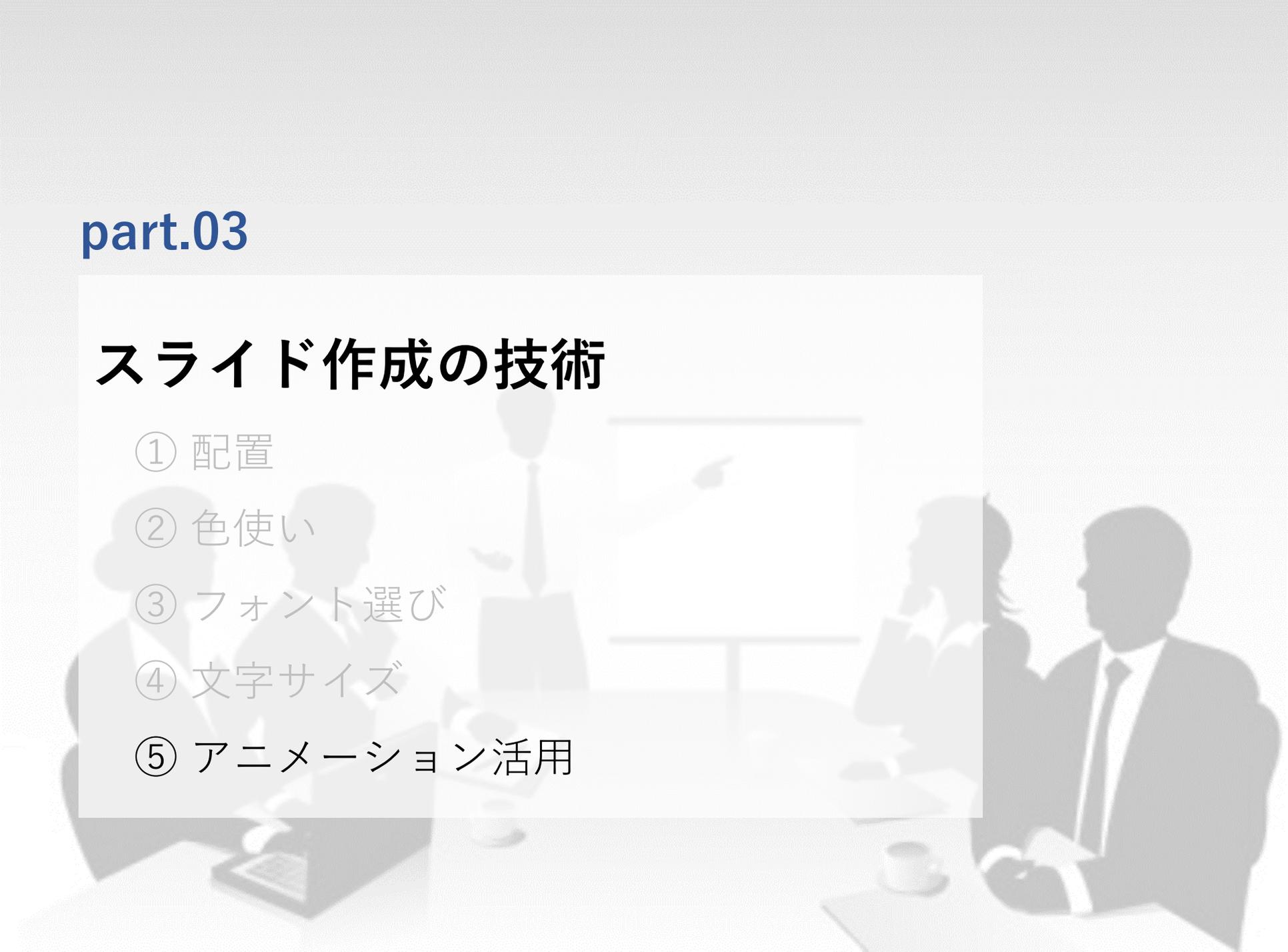
人生を切り拓くための手帳の活用法

人生を切り拓くための手帳の活用法

part.03

スライド作成の技術

- ① 配置
- ② 色使い
- ③ フォント選び
- ④ 文字サイズ
- ⑤ アニメーション活用

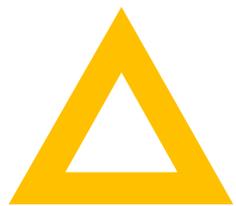


アニメーションが**主役**になってしまう

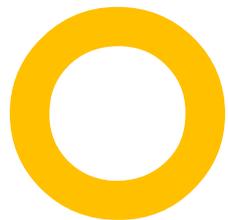
動きが終わるのを
待ってしまう

多用しすぎで、
把握できていない

動きばかり派手で
内容が分かり難い



動きで**アピール**する



見せたい所に**視線を誘導**する

原則

1

過度に使用しない

原則

2

基本的に**フェード**のみで充分

原則

3

但し、**オンライン時**は多用しても○

当講座を受講した感想を

スライドを活用してプレゼンして下さい

- スライド枚数： **5** 枚以内
- プレゼン時間： **3** 分